

足下郡

水田少シ、田段別、千七百六十才用冰ニハ、專ラ酒勾用ノ水ヲ引沃ギ、川音川狩川等ノ諸流ヲ灌漑シ、或ハ山間ノ清水ヲ引ラ耕種ス、土性ハ多ク赤黒ノ兩種ニシテ、又砂礫錯レル地モ少クアリ、農業ク外、專ラ薪ヲ採炭ヲ燒テ、生產ノ資トス、固ヨリ富饒ノ戸口乏シ、闔郡ノ村數、正保ノ改メニ九十八元祿ノ改メニ九十五、按ズルニ透間諸淵、大藏、野嶺四村ヲ合シ、一村トシ、川西村ト、閩稱シ、又郷故ニ減ヌルモノ凡テ三村ナリ、今ハ一村ヲ減シテ九十四元祿圖ニ輒スル都夫良野村内小畠ヲ、枝郷小畠ナリ、本村ニ併入セリ、石高正保ノ改ニ、二萬三千七百七十三石七斗一升三合、元祿ニ至テ三萬二百四十九石六斗二升三合トナル、前ニ増加スル事、六千四百七十五石九斗一升、今又三千五百五十石一斗二合ヲ増加シ、總高三萬三千七百九十九石七斗二升五合ニ至ル、此餘寺社除地、三百三十八石五升八合餘、

身勿事、旌孝行也、

伊呂波字類抄

左

國郡

中略

管八〇

足下

アシノシモ

今名西富

〔郡名考〕

相模

足下

アシノシモ

足柄下

アシカラシモ

〔新編相模國風土記稿〕

足柄

二十二

下郡

圖說

本郡ハ國ノ西邊ニアルヲ以テ、北條氏分國ノ頃、國中ヲ三分シテ、東中西ノ三郡ニ闔稱セシ時、足柄上下ノ二郡ハ、專ラ西郡ト唱ヘシコト、北條役帳、及ビ當時ノ古文書等ニ見エタリ、古圖ノ今傳フルモノナケレバ、古ノ沿革ハ知ベカラズ、サレド郡ノ東ノ方中村郷ノ地、中村原以下古ヘ淘綾郡ニ屬セシナリ、和名抄郷名ノ條ニ、中村郷ヲ以テ彼郡内ニ係タリ、是其證左トスルニ

タレリ、○中

足柄下郡ハ、國ノ西南堺ニアリ、○中郡東ハ、總テ平夷ノ地ニシテ、郡ノ中央ヨリ以西ハ、山巒重疊シ、村落ヲ結ベルモノ數山ノ踵趾、若クハ峽間ニ在リ、サレバ闔郡ノ廣袤計リガタシ、大抵東ヨリ西